

「財布を落とすな」

ボケ：いやー、昨日最悪な事があって

ツミ：どうしたんや？

ボケ：買ったばかりの財布落として

ツミ：それは痛いな 財布落とした時ってものすごい絶望が襲って来るよな

ボケ：そういう時って、天使と悪魔が現れるねんな

天使「すぐ交番に行きなさい、誰かが届けてくれています」

悪魔「ムダムダ、財布なんか届いてるわけない」

ツミ：そいつらは財布拾った奴のところに行けや

ボケ：悪魔「拾った財布を交番に届ける奴なんていない」

ツミ：交番に届いてないんは、財布拾った奴にささやいた悪魔のせいちゃうんか！

ボケ：いや、お前が「財布拾った奴のところに行け」言うたからやろ

ツミ：オレのせいなんか！

ボケ：いやーこれからどうしたらええんやろ

ツミ：じゃあ今、一文なしか？

ボケ：いや、中身は全部あるけど財布だけがない

ツミ：えっ、どういう事？ 逆の中身無くなって財布だけ見つかる事はあるけど

ボケ：財布落とした場所は分かってるから

ツミ：ちょっと待って、財布落とした時に気付いてたってこと？

ボケ：そりゃ気付くよ、落とした瞬間「ガシャーン」でデカイ音がして碎け散ったからな

ツミ：財布の材質何やねん、「財布落とした」ってそういう事？

ボケ：ガラスの財布って開けなくても中身の金額分かるから便利やと思って

ツミ：デメリットの方がデカすぎるやろ

ボケ：たまにおるやろ、財布にヒビ入ったまま使ってる奴

ツミ：スマホの画面やないねんから、おらんわそんな奴

でも財布の中身が回収できたんやったらまだマシ「不幸中の幸い」やな

ボケ：「寄生虫が体内」？

ツミ：何食ったんや！ちゃんと火通せ！

ボケ：だいたい、財布失ったのにどこがマシやねん

ツミ：普通に財布落としたらもっと大変やから いろいろやらかなアカン事あるし

ボケ：破片を掃除したり？

ツミ：ガラス限定や

ボケ：気をつけて、素手で片づけると手ケガするから

ツミ：コップ割った時に言うやつやろ

ボケ：しゃーないから足でガラス片づけたら靴がガラスまみれになって
シンデレラかと思われたがな

ツミ：「ガラスの靴」ってそんな喧嘩仕様の靴ちゃうわ まずやる事あるやろ
財布がない事に気付いたら、とりあえず自分がここまで通って来た道を
思い出して・・・

ボケ：あーっ！高校の時、もっと勉強しておけば良かった

ツミ：「自分が通って来た道」って人生振り返るな ここは冷静に行動せんと
とりあえず、クレジットカード止めなあかんやろ

ボケ：止めるな、行かせてやれ

ツミ：どこにや カードを使えないようにせなあかんやろ

ボケ：どうやって？磁石近づけるんか？

ツミ：カード手元にないし、そんな事せんでもカード会社に連絡したら
端末で止められるやろ

ボケ：「そのカード使うの、ちょっとタンマっ！」

ツミ：しょうもないこと言うな、タンマで犯罪止められるか
ちゃんと手続きせんと、失くしたカード勝手に使われたら嫌やろ

ボケ：カレー作った後の鍋洗うのに使われたりな

ツミ：カードで鍋のカレーをこそぎ落とすな！その使われ方も嫌やけど
買い物する時にカード使われるやろ、ネット通販とかで

ボケ：ああ、段ボール届いたら開ける時にガムテープの所をカードでしゃーって

ツミ：カッターとして使うな、支払いに使うやろ

あと、財布にはカードの他に免許証入れてることも多いから

ボケ：そうや、免許証なくなるのは困るな

ツミ：これは、まあ面倒やけど再発行できるけどな

ボケ：再発行では意味がないねん、アレには路上教習やら学科の試験勉強の
思い出がギッシリつまってんねん

ツミ：免許証をメモリアルグッズとして持ってる奴はおらんやろ

ボケ：人が何を大事にしようが自由やろ、免許取った10年前の思い出が詰まってんねん

ツミ：それ絶対更新してるよな？1回でも更新したら最初の免許証はもう使わんやろ
大体、普段運転せえへんのやったら免許証は持ち歩かんでええやろ

ボケ：いざという時、ないと困るからな

ツミ：急に車運転する事なんかそうないやろ

ボケ：免許証を所持しとかんと身分証がないからレンタルDVDに入会できない

ツミ：近所に急にTSUTAYAできる事あるか？圧倒的になくなり気味やろ

ボケ：空地はあるから

ツミ：そういう場合、決してお前の望む店舗は入らんから期待すんな

ボケ：じゃあ最悪、自動車教習所で

ツミ：空地デカツ

ボケ：これでいつ免許証落としても安心や

ツミ：その都度取り直すんか！？

ボケ：思い出込みの免許証が欲しいから

ツミ：コスパ悪すぎやろ そんな事よりこれからは財布落とさんように気つけんと

ボケ：どうしたらええと思う？

ツミ：落とさないようにか・・・例えばウォレットチェーン付けるとか

ボケ：それはハードル高いな

ツミ：まあファッション的にコーディネート難しいかな

ボケ：それにへそピアス開けなあかんのやろ？

ツミ：どこにチェーンつなぐつもりや！

ボケ：へそにつないどいたら落とした瞬間「イタイイタイイタイ」って気付くやろ

ツミ：つなぎ先はズボンでええやろ

ボケ：それやったら財布落としたらズボンもずり下がり、パンツ丸出しで捕まるぞ

ツミ：財布重すぎ、ベルト緩すぎ、チェーン短すぎや どっか改善せえ

ボケ：結局、財布もズボンも失うハメになる

ツミ：ズボンは失くさんやろ、足首に引っかかるし

ボケ：さらに靴も失った

ツミ：どんな負の連鎖やねん そんな目に会うんやったら財布だけ失くしとけ

ボケ：でも靴は王子様が見つけてくれるから

ツミ：ガラスの靴はもうええねん 「財布を落とさない」対策の話してんねん

ボケ：わかった、じゃあへそピアス開けるわ

ツミ：結局それ採用すんのか

ボケ：でも簡単には決められんな、その前に相談せなあかんからな

ツミ：誰にや？そんなもん、自分で決めたらええやろ

ボケ：いや、へそピアス開けるのにお金かかるから財布と相談するわ

ツミ：もうええわ

「ワル」

ボケ：ちょっと相談したいことがあって

ツミ：何や？

ボケ：実はワルになろうと思って

ツミ：いきなり何言い出すねん どういう理由や

ボケ：だってワルい男の方がモテるやろ

ツミ：そういうのは中学とかせいぜい高校までの価値観やろ

ボケ：あと、足が早くなりたい

ツミ：足が早くてモテるんは小学生までや

ボケ：そういうわけでワルになって悪事を働くことになったから

ツミ：アカンに決まってるやろ 大体悪事って何するつもり？

ボケ：最終的には権力を手にしたいから、まず手始めにまんじゅうを買う

ツミ：なんで？

ボケ：権力を最短で手に入れるには賄賂がいるやろ そのためにまんじゅうの下に
現金詰めて渡すんやないか

ツミ：回りくどいな そういう悪代官と悪徳商人のやり取り時代劇であるけど

ボケ：ポチもワルよのう

ツミ：そちな 悪いポチはしつけされてない犬やから

ボケ：悪代官ってどこに行けば会えるんや？

ツミ：今はどこにもおらん

ボケ：じゃあ、このまんじゅうは誰に渡せばええんや？

ツミ：とりあえず自分の知ってる範囲で権力を持っている人に渡せばええんちゃうか

ボケ：ウチの場合やと権力持ってんのは親やから、親に渡すわ

ツミ：それは単なる親孝行や

ボケ：なんで？

ツミ：甘い物送られて喜んでるところにさらに現金まで渡されたら最高やないか

ボケ：やっぱり自分1人のアイデアでは限度があるな

ツミ：限界来るの早すぎやろ

ボケ：まあそういうこともあろうかと思って、実はすでに悪事を働くための
悪の組織を立ち上げたから

ツミ：どういう展開やねん

ボケ：実はつい先日、記念すべき第1回目の秘密会議を開催してきたから

ツミ：秘密会議やったら黙っとけ 大体会議で何の話すんねん

ボケ：悪だ くみ

ツミ：倅田來未の言い方すんな 悪だくみやろ

ボケ：まあ、その会議でいろいろあったから聞いてくれや

ツミ：しゃあない聞いたるわ

ボケ：まず、この悪の組織には幹部がおるわけやけど

ツミ：いきなり幹部出てきたけど、それって何人おるんや？

ボケ：全部で8人

ツミ：まあ、とりあえず集めたにしては上出来か

ボケ：ただの8人ちゃうぞ 最強の8人、いわば「第1四天王」と「第2四天王」や

ツミ：割るな 8人で1つの異名をつけろや

ボケ：「四天王」ってカッコええからどうしても使いたかったし

ツミ：じゃあ4人に絞れや

ボケ：4人やとちょっと自信がない

ツミ：悪の秘密組織は自信がなかったらやるな

ボケ：そんな事言うけど、4人やとシフト回らんねんけど

ツミ：交代制なんか エリア毎に支配してる奴が集まるんちゃうんか

ボケ：そんな人手不足やとブラック企業って言われるし

ツミ：悪の組織はブラック企業や 勤務時間は関係ない

ボケ：それでまあ会議をやるにあたって1個問題があって

ツミ：問題は1個どころやないと思うけど何や？

ボケ：自分としては他の幹部にも素顔は見せたくないわけや

ツミ：そういうパターンあるな フードや仮面で顔隠したり、声だけで指示出したり

ボケ：だから解決策として、会議の日は早起きして、しっかり目のメイクして

ツミ：「素顔を見せたくない」ってそういう意味なんか

ボケ：お気に入りの一着を用意して

ツミ：ウキウキお出かけモードやないか

ボケ：好きな服着てるだけ、悪いことしてないよ

ツミ：悪事を計画するんやろ 聞いたことある歌詞みたいなこと言うな

ボケ：ダイヤモンドだぜ

ツミ：「だぜ」やない ダイヤの強奪企んどるやないか

ボケ：それでまず会議をやるための会議室借りることになって

ツミ：自社物件ちゃうんか

ボケ：2階にある会議室を探して
ツミ：中途半端やな、悪者の秘密会議は最上階か地下深くやろ
ボケ：1階やとセキュリティ上の問題があるから
ツミ：1階にそんな危険あるか？
ボケ：アクセルとブレーキ踏み間違えた車が突っ込んでくるやろ
ツミ：たまにそういう事故あるけど用心しすぎやろ
ボケ：それが、会議の日に始まる直前に外でデカイ音がして見に行ったら
建物に車が突っ込んでて
ツミ：危なかったな
ボケ：運転してた奴は無事みたいやったけどあわてて電話してたわ
「秘密会議の出席遅れます」
ツミ：幹部の1人やったんか そんな奴なんで幹部に選んだんや
ボケ：確かに まず警察に電話すべきやし
ツミ：問題はそこちゃうやろ
ボケ：それでその幹部はクビにすることになったけど
ツミ：まあ1回そんなミスしたら次はないわな
ボケ：サッカーで言うところの一発レッド・カーペットや
ツミ：誇らしげに歩かせてどうすんねん レッドカードで退場ちゃうんか
ボケ：それで幹部に欠員出たからお前入るか？
ツミ：入るわけないやろ、もうええわ

ボケ：マイナンバーカード

ツミ：持って行ってどうすんねん

ボケ：知らんのか？マイナンバーカードでいろんな手続きができるんやで

ツミ：無人島に着いて何の手続きするつもりやねん

ボケ：そら 住民票移すやろ

ツミ：脱出諦めるんか

ボケ：そうになったらそうなったでしゃあないからな

ツミ：そもそも役所行かんとマイナンバーカードだけで住民票移すの無理やで

ボケ：じゃあとりあえず住民票発行して…空き瓶につめて海に流す

ツミ：手紙送れや 誰かが拾っても留守の家に連絡行だけやろ 本人は無人島やから

ボケ：あっそうか 無人島に1つだけ持っていけるとしたら「空き瓶」

ツミ：空で持ってこんでええやろ 中に何か入れて来いや 水とか

ボケ：空じゃなくてちゃんと空気入ってるから 水より空気の方が大事やろ

ツミ：空気は無人島にもあるやろ

ボケ：でも都会の空気は貴重やから

ツミ：逆や 都会で吸う自然のきれいな空気が値打ちがあるんやろ

ボケ：（ビンの空気吸ってしみじみ言う）都会の空気かー

ツミ：やっぱり都会に戻りたいんやないか

ボケ：しまった、ビンに貼る切手もいるな

ツミ：いらんやろ

ボケ：貼ってもどうせ海で剥がれるからな

ツミ：そういう問題ちゃうやろ

ボケ：よかった 切手代調べるのめんどくさかったから

ツミ：どうでもええわ

ボケ：うちわに書いた暑中見舞いよりは高いやろな

ツミ：ウケねらいの郵便物あるけど

ボケ：じゃあ仕方ない、自分が頑張ってる島を住みやすい環境に変えていく

ツミ：最初からそうせえ

ボケ：その第一歩として 選挙に出る

ツミ：「住みやすくする」方向がちゃうやろ

ボケ：「えー皆様、わたくしこの度、無人島から立候補いたしました…」

ツミ：選挙活動すんな

ボケ：やっぱり1つだけ持ち込むのは投票箱にするわ

ツミ：そんなんヤシの実くりぬいてなんとかせえ 選挙やったら投票用紙の方が大事やろ

ボケ：紙？そんなこともあろうかと 自分の住民票をプリントアウトしといたから

ツミ：最初から自分の名前書いてある紙はあかんやろ

ボケ：これで当選間違いなしや

ツミ：無人島で不正選挙すんな もうええわ

「防犯対策」

ボケ：最近ぶっそうな事件多いなあ

ツミ：なんかタチの悪い奴が増えてる気がするな

ボケ：それ、たぶん「人をダメにするクッション」のせいやろな

ツミ：「ダメな人」はそういう意味ちゃうわ どんないじめで犯罪者生み出すねん

ボケ：「どっこいしょ いやー落ち着くなー よしっ金品を強奪しよう」

ツミ：そうはならんやろ 何もしたくなくなれや

ボケ：柔らかすぎて人生甘く見てるんやろな、人生はハードなものやと思わせるために
ビーズの代わりに土入れたらどうや？

ツミ：土のうやないか、カチカチで座り心地悪いやろ

ボケ：土のう？

ツミ：見たことあるやろ、大雨の時とか、積み上げて水をせき止めたりするのが土のうや

ボケ：（ホワイ？のポーズで）アイ ドン ノウ

ツミ：日本人離れすんな まあ最近は何事も多いし、夜町歩いてたら絡まれて
「金よこせ」とか言われるかもしれんし

ボケ：オレはちゃんと防犯対策してるで

ツミ：へえ何やってるの？

ボケ：絡まれた時のために足鍛えてる

ツミ：まあ、その場から逃げるのが一番やしな

ボケ：「金持ってるだろ、ジャンプしてみろ」って言われたら高く跳べるし

ツミ：要求はジャンプ力の強さちゃうけどな

ボケ：相手の視界から消えるぐらい高くやで

ツミ：鍛えすぎやろ

ボケ：1回失敗したのが、真上に跳んだせいで結局同じ場所に降りてきて、
着地の瞬間に胸倉つかまれて「金出せ」言われた

ツミ：そんなすごいイベント発生してんのにカツアゲ続行なんや
そんだけの脚力あったら他の解決方法あったやろ

ボケ：あるか？

ツミ：そんだけ脚鍛えてたら、相手蹴っ飛ばしたらしまいやろ

ボケ：それはやった事あるけど、真上に蹴り上げたせいで結局着地の瞬間「金出せ」や

ツミ：そいつもスゴいわ そんだけの根性あったら他の道で成功してたやろ

ボケ：次は家の防犯対策を考えてるけど、まず何をすればええ？

ツミ：家で考えるとしたら、まず最初はオートロックかな

ボケ：えっ？1から4ちゃうの？

ツミ：「5と6」言うてないねん まあオートロックは物件選びの段階の話しやから
出来るとしたら例えばドアのカギが元々1つやったら2つに増やすとか

ボケ：それやったらウチはカギ5個あるで

ツミ：セキュリティー嚴重やな

ボケ：なんせすぐカギなくすから予備のため5個作ってんねん

ツミ：そっちのカギか！ カギなくすんは最低のセキュリティーやろ

ボケ：でも、ちゃんとカギにはなくした時に備えて1個1個住所と名前入れてるで

ツミ：小1の持ち物か 余計まずいやろ

ボケ：なんで？見つけた人が家に届けてくれるやろ

ツミ：悪い奴やったらどうすんねん

ボケ：「わざわざ届けてくれて悪いねー」

ツミ：そういう意味ちゃうわ

ボケ：それだけやない、この特注のカギはギザギザに尖らせてあって護身用にもなるから

ツミ：元の形変えんな カギ開かんようになるやろ

ボケ：怪しい奴を見つけたらカギでアタック

ツミ：いきなり斬りつけんな あとどうするつもりやねん

ボケ：そんな時のための「カギの救急車」やろ

ツミ：呼ぶな、あの人らそんなつもりで商売やってない

血まみれの不審者押し付けられてどうしたらええんや

ボケ：で、手元に残った血の付いたカギはもう使いたくないし、どうせ予備もあるから
遠くにぶん投げて証拠隠滅

ツミ：・・・・・・カギに名前と住所入れとんちゃうんか

ボケ：セキュリティーが裏目に出たか

ツミ：何考えてんねん

ボケ：あと、防犯対策としてベランダにはあえて男物の服干してる

ツミ：女性の1人暮らしでやるやつやろ 男が男物干すのは当たり前やろ

ボケ：それだけやなくて、この部屋には男が大勢住んでると思わせてる

ツミ：どうやって？

ボケ：パンツを同時に7枚干してる

ツミ：1週間分まとめて洗濯したと思うだけやろ

ボケ：さらに、ビビらせるために血がべっとりついた服を干す

ツミ：近所の住民が不安に思うやろ

ボケ：そういえばそれ見て訪ねて来た奴おったな

ツミ：そんなん見てあえて来るとは度胸あるなそいつ

ボケ：ピンポン「血まみれのシャツが干してあるのを見かけたので
汚れがよく落ちる洗剤を紹介したいんですけど」

ツミ：ビジネスチャンスととらえるな

ボケ：それでドア空けたら言われたわ「あっ、あなたはあの時のケリアゲさん！」

ツミ：さっき蹴り上げた奴なんかい 別の道で成功してんのか？

洗剤の勧誘ってなあ、 まあ更生したんやったらええけど

ボケ：洗剤は断ったけどね 血の汚れは重曹やオキシドール使えばいいだけやし

ツミ：ライフハックいらん 男の1人暮らしにそんなモンは置いてないわ

ボケ：そういえば防犯対策として押しピン買った

ツミ：押しピン？玄関にばらまいて泥棒用の罠仕掛けるんか？「ホームアローン」的な

ボケ：そんなことするか、押しピンで玄関に防犯ポスター貼るねん

ツミ：手遅れや、玄関は侵入許した後やからな

ボケ：でも、防犯週間だということをお知らせしてるで？

ツミ：泥棒が防犯ポスター見たから「じゃあ帰ろ 後日改めて」とはならん

ボケ：あとは、防犯用にアレ置きたいな、侵入者を発見したらレーザーが出てきて
切れるやつ

ツミ：やりすぎやろ それ映画でよくある、前から赤いレーザー光線が迫ってきて…

ボケ：当たった瞬間泥棒が、「何、レーザー当てとんねん」

ツミ：キレてるけど 怒らせただけで防犯にならんやろ

ボケ：その文句の声に反応して防犯装置が作動する仕組みや

ツミ：二度手間やろ

ボケ：さらに防犯対策を追加するとしたら、番犬とかどうかな？

ツミ：お前のとこ賃貸やろ？飼っていいかどうか確かめんと

ボケ：親に？

ツミ：大家に！

ボケ：じゃあ頼んでみるわ、「お手伝いするから」って

ツミ：親に言うやつやろ

ボケ：「エントランス及び共用部分の清掃を定期的に行う」から～

ツミ：具体的な交渉すんな そんなん飼えたとしても世話大変やで

ボケ：大丈夫、ちゃんと世話するし、留守中はペット用カメラでチェックするし

ツミ：ペット用カメラ買うんやったら防犯カメラ買えや

ボケ：そんなんイランわ、だって防犯カメラは犯人の顔映ってるんやろ？

なんで金出してキライな奴の顔見なアカンねん

ツミ：防犯カメラはそういうもんや

ボケ：どうせ金出すんやったらかわいいペットの映像見たい

ツミ：犬飼う理由、防犯と関係なくなってるやろ もうええわ

「dead or alive」

ツミ：いやー今年は頑張っていかなとなあ言うてますけど

ボケ：それでこの前、死ぬ気で頑張ろうとしてうっかり死んでもうたんやけど

ツミ：待てや、じゃあ今どういう状態やねん

ボケ：たまたま生き返れた ビギナーズラックかな

ツミ：ビギナーもラックも使い方おかしい 人生最初で最後のイベントやから

ボケ：まあプレッシャーを感じずに楽しんでやれたからな

ツミ：エンジョイ勢か なんて死んでそんなすぐ生き返ってんねん

ボケ：すぐって言うわけにはいかんよ まあ、しばらくの間ダウンタイムがあるけど

ツミ：どこイジったんや！

ボケ：だから今日は先輩としていろいろ教えるわ

ツミ：全然信じられんけど、とりあえず聞いたるわ じゃあ死ぬ瞬間って
これまでの人生が走馬灯みたいに流れるっていうけど何が見えた？

ボケ：それはよく分からなかった

ツミ：実際はそんなんはなかったって事？

ボケ：いや、スキップしたから

ツミ：見ろや

ボケ：せっかく課金したし

ツミ：プランによっては見んで済むもんなんか？

ボケ：でもせっかくやから次に流れてきたときは倍速で見たから

ツミ：1倍で見ろや、その後急ぎの用事ないやろ

ボケ：どうせ1回観たやつやし

ツミ：全員そうや 逆に見たことないシーンばかり流されても困るやろ

ボケ：何回も見ようと思ったらジブリ作品のクオリティがないと

ツミ：同じやつ何回も放送してるけど

ボケ：あとっておきたいのは、あらかじめ顔写真は撮っておいたほうがいいということ

ツミ：顔写真？ ああ遺影用ってこと？

ボケ：死んだら大空に顔を投影せなあかんやろ

ツミ：それは知り合いが心の中で自分のタイミングでやるから

知らん人間からしたら「知らん人のでっかい顔出てる」って怪奇現象やろ

ボケ：じゃあ水平線から顔半分だけ出すわ

ツミ：余計キモいわ

ボケ：（顔を下から出しながら）「僕だよ～」

ツツミ：「朝だよ～」で漫画のお日様のやるやつや お前には荷が重いやろ

ボケ：「そういうわけで今回死んでみたわけですけど」

ツツミ：生配信すんな そこはにっこり微笑むだけでしゃべらんでええやろ

ボケ：せっかくやからこういう機会に大勢と仲良くなりたいたい

ツツミ：生きてる時にやれや

ボケ：「コミュカおばけ」って言われたい

ツツミ：「なんかこのオバケめっちゃしゃべりかけてくる」の事ちゃうねん

そこで許されるトークは戦ってる仲間にラスボスの倒し方伝えるぐらいやろ

ボケ：そんなん敵に聞かれたら必殺技バレるやろ

ツツミ：通話相手を絞れや なんて一番キライな奴グループに招待すんねん

ボケ：とにかく、一旦死んでみたらいろいろメリットあるから

ツツミ：そんなんあるワケないやろ

ボケ：飲み会誘われて面倒くさいなあと思ったら喪中で断れるし

ツツミ：本人のパターンはないねん

ボケ：あと生活費が節約できる

ツツミ：どういうことや？

ボケ：家賃が安くすむ

ツツミ：墓地の近くの家賃の安いところにでも住むんか

ボケ：むしろいい部屋に引っ越せるで

ツツミ：売りたい芸人が取って家賃の高い所に引っ越すのは聞いた事あるけど

ボケ：部屋借りてすぐ死んだら、その瞬間事故物件やから来月から家賃下がるやろ

ツツミ：そうはいくか 死んだら出ていけ、居座るな

ボケ：そう簡単には追い出せんよ 弁護士資格を持った霊媒師を見つける必要があるから

ツツミ：兼ね備える義務はないやろ そんなんバラで呼んだらしまいやろ

ボケ：あと生命保険入ってたから結構余裕がある

ツツミ：受取人が本人の書類が通るか

ボケ：「思わぬ臨時収入でラッキー」って朝の星座占いで出てたし

ツツミ：先に死んでんねん

ボケ：この際、投資始めてみよっかな

ツツミ：死に際は「この際」とは言わんやろ

ボケ：保険金の賢い運用方法をマスターしたら保険金達人やな

ツツミ：保険金殺人みたいになつとる そんなん保険金は貰えんから

ボケ：なんで？入院保障は受け取っても退院したから返せとは言われんやろ

ツミ：それとこれとは違うやろ

ボケ：死んだのが完治しただけやから

ツミ：治るか

ボケ：これで銀行口座の残高もうなぎ上り

ツミ：死んだら口座も凍結されるやろ

ボケ：えっ、なんで俺の通帳、冷凍庫に隠してんのバレてんの？

ツミ：そういう意味ちゃうわ なんでそんな所に隠したんや

ボケ：冷凍庫の中、霜でガチガチで取り出し不可能やから

ツミ：それは手入れせえや

ボケ：そしてあの世に行ったら、まず入口で厳しいチェックを受けるから

ツミ：ああ、天国行きか地獄行きかってやつやろ？

ボケ：もっと大事な事がある カバンの中を弁当や飲み物持ち込んでないかチェック

ツミ：入場した後、中で買わそうとしてんの？だいたいあの世で食うもんなんかないやろ

ボケ：オバケかぼちゃとか

ツミ：やたらデカイだけで霊的な要素ないやろ

ボケ：だってハロウィン仕様やで？

ツミ：顔の形と中身くりぬかれて食うとこ無くなってんねん

ボケ：あと死んだ時は、体が疲れてないせいか夜なかなか寝られない

ツミ：寝る必要あんのか？

ボケ：だから寝付けない夜はひつぎの数を数える

ツミ：ひつじでええやろ

ボケ：「ひつぎが1基、ひつぎが2基」

ツミ：ひつぎは「1基、2基」って数えるんか タメになったわ

ボケ：自分1人で運ぶの大変やったわ

ツミ：実物用意せんでもええやろ

ボケ：だって「ワンオペかんおけ」やで？

ツミ：知るか！そんな業務頼んでないねん

ボケ：でもその後はぐっすり寝られるから

ツミ：それ1人で運んで疲れるからや それやったら棺である必要ないやろ

ボケ：そういえば運んだ棺、戻すの忘れてたから運ぶの手伝ってくれるか？

ツミ：こっちも殺そうとすんな もうええわ